

ろうさいニュー



独立行政法人 労働者健康福祉機構
浜松労災病院

新任紹介

麻酔科部長 木倉 睦人

皆さん、こんにちは。木村健前部長の後任として7月1日付で麻酔科に着任いたしました。浜松労災病院が新築され、充実した広い手術室が新聞で大きく報道されているのを知り、急性期医療における周術期管理の重責と地域の大きな期待を感じています。浜松市東区の豊西地区に住んでいますが、日頃から近隣の方々の、足腰が痛い、頭痛がする、肺を患っているなどで、浜松労災病院にお世話になっているという話をよく聞いておりました。平成元年に卒業し浜松医大麻酔科に入局してから今まで当院に勤務するご縁がありませんでしたが、新しく雰囲気の良い病院で働くことになり、うれしく思っています。



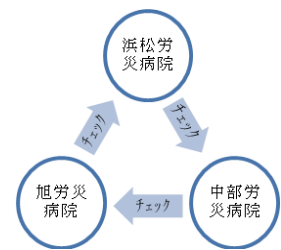
麻酔科は、手術室を中心とした周術期管理に携わり、患者さんの術前評価から術中の麻酔管理、そして術後診察や疼痛管理などを通じて各診療科・各部署の方々と関わることが多い診療科です。私自身も、さまざまな診療科の医師ならびに医療従事者の方々と働く中で育ち、地域のおかげで今がありますので、浜松労災病院の若い先生方には積極的に声かけをして彼らの成長の一助となり、少しでも地域に恩返しができると思っています。当院は、学術的な活動についても期待されておりますので、新しい病院に新しい発想を求めて、後進の指導育成に頑張りたいと思います。私ともに佐藤恒久医師が浜松医大の麻酔科から赴任しております。当直には、若手の麻酔科医師も応援に来てくれるようです。元気で明るい前向きな医師ばかりですので、どうか皆さん、診療科の枠を超えていろいろと教えていただけると助かります。至らぬところも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

医療安全対策への取り組みの紹介

医療安全管理室は、平成15年4月に発足し、私は2代目の医療安全管理者として、5年目を迎えました。今年、当院にも感染管理看護師が誕生しましたので、様々な相談もでき大変心強く感じています。

医療安全活動には様々なものがありますが、その活動の一つとして当院では医療安全相互チェックを実施しています。これは労働者健康福祉機構医療事業部の管理の下、平成18年度に始まりました。チェックは、医療安全総括責任者と医療安全管理者の他、テーマに関連した職種にも参加してもらい、マニュアルの確認や現場の巡視を行います。それぞれの病院の事情は違いますが、評価することは大変ですが、チェックすることで自部署を振り返ることもできます。また、他病院からのチェックが刺激となり、改善活動が活発になるのを感じます。

当院の医療安全管理室では、院内外の皆様のご意見をお聞きし医療安全確保に努めてまいりたいと思います。



講演会を開催しました

メンタルヘルス講演会

場所：大会議室 参加者数：70名

7月7日に浜松医師会、浜松労働基準協会、静岡産業保健推進センターのご共催をいただきメンタルヘルス講演会を開催いたしました。

浜松医科大学医学部看護学科教授・静岡産業保健推進センター産業保健相談員である巽あさみ先生を迎え「職場のメンタルヘルスと過重労働対策」について講演されました。過重労働対策として職場環境の改善や時間外労働時間が多い労働者に対して産業医等に助言指導が必要であると説明されました。

また、参加者を対象に疲労蓄積度の自己診断チェックを実施し、診断方法及び予防対策についても解説され、大変好評をいただきました。

第5回医療連携講演会

場所：大会議室 参加者数：34名

7月14日に河本正昭整形外科部長により「手における労災後の遺残障害への対処について」の講演を開催いたしました。

様々な残存障害の症例を画像を使って紹介し、対処方法について分かりやすく説明されました。

今後も継続して医療連携講演会を開催致しますのでよろしくお願い申し上げます。

人事異動

(採用)平成22年8月1日付け

脳神経外科部長 山田 茂樹



H9卒

【専門分野】

脳動脈瘤

脳卒中

【資格等】

日本脳神経外科専門医

日本脳卒中学会専門医

(退職)平成22年7月31日付け

耳鼻咽喉科副部長 山本 英永

